

糖尿病治療についてのアンケートのお願い

生涯教育委員会主催

糖尿病性腎症重症化予防プログラム講演会(2018/10/3)に向けて

高齢化が進む中で、生活習慣と社会環境の変化に伴う糖尿病患者数の増加が課題となっています。糖尿病は放置すると網膜症・腎症・神経障害などの合併症を引き起こし、患者のQOLを著しく低下させるのみならず、医療経済的にも大きな負担を社会に強いることとなります。このような中で、2016年3月24日、日本医師会、日本糖尿病対策推進会議及び厚生労働省は「糖尿病性腎症重症化予防に係る連携協定」を締結し、同年4月に「糖尿病性腎症重症化予防プログラム」を策定し、都道府県・市町村による独自のプログラムの策定を求めるなど自治体の取組の拡大を進めました。千葉県でも、2017年12月にプログラムが策定され、現在、自治体ごとに、いろいろな形で取り組みが始まっています。

本来は、受診していない、または受診中断している糖尿病の患者さんに対する対策が必要なのですが、そのような患者さんを見つけ出すことは困難です。そこで、対策のうち1つの柱は、行政(保健所など)が、特定健診やレセプト請求などのデータから患者さんを抽出し、受診の勧奨や栄養指導のプログラムの提供をすることです。

もう1つは、医療機関に受診中の糖尿病の患者さんのうち、ハイリスクな症例に対して、早いうちから専門医の介入を勧めていくことです。

柏市医師会生涯教育委員会では、10月に糖尿病性腎症の啓発を目的とした講演会を行うことになりました。

これに向けて、会員の皆様の糖尿病および糖尿病性腎症の治療目標や紹介基準を御伺いしたいと思い、アンケートを作成しました。

アンケート結果は、講演当日までに集計し、発表予定です。

お忙しいところ恐縮ですが、是非、お答えいただければ幸いです。

平成 30 年 8 月 2 日

柏市医師会 生涯教育担当理事
小倉 誠

柏市医師会生涯教育委員会主催
糖尿病性腎症重症予防化プログラム講演会アンケート

該当する項目にチェックを入れてください。

●外来での糖尿病診療について教えてください。

1. 1か月に何名くらいの糖尿病患者さんを診られていますか？

10人未満 10-50人 50-100人 100人以上

2. 血糖管理目標(HbA1c)はどのように設定されていますか(高齢者を除く)？

6.0%未満 7.0%未満 8.0%未満 その他()

3. 収縮期血圧管理目標はどのように設定されていますか？

120未満 120-130 130-140 140以上

4. 腎機能(Cr)は検査していますか？その頻度は？

なし 1-3ヶ月おき 4-6ヶ月おき 6ヶ月以上

5. eGFRを測定していますか？その頻度は？

なし 1-3ヶ月おき 4-6ヶ月おき 6ヶ月以上

6. 尿蛋白は検査していますか？その頻度は？

なし 1-3ヶ月おき 4-6ヶ月おき 6-12ヶ月 12ヶ月以上

7. 尿中微量アルブミンは検査していますか？その頻度は？

なし 3-6ヶ月おき 6-12ヶ月おき 12ヶ月以上

8. 糖尿病の悪化により、専門医に紹介する基準(HbA1c)は？

7.0%-7.4% 7.5%-7.9% 8.0%-8.4% 8.5%-8.9% 9.0%以上

9. 糖尿病性腎症による腎機能悪化により、専門医に紹介する基準は？

Cr について(男性として)

1.0-1.5 1.6-2.0 2.1-2.5 2.6-3.0 3.0 以上

eGFR について

30ml/min 未満 31-45ml/min 46-60ml/min 61ml/min 以上

10. 糖尿病性腎症による尿所見悪化により、専門医に紹介する基準は？

尿蛋白定性について

± 1+ 2+ 3+以上

尿中微量アルブミンについて

30-100mg/g・cr 100-300mg/g・cr 300mg/g・cr 以上

11. 最近、国や自治体が「糖尿病性腎症重症化予防プログラム」を策定し、重症化リスクの高い患者さんに対し、医療保険者・主治医・専門医が連携し、人工透析にならないよう継続的な受診勧奨と保健指導を行うことを目指しているのをご存知ですか？

はい いいえ

12. 糖尿病および糖尿病性腎症を専門医に紹介するにあたって、問題になる点を教えてください。(記述)

ご協力、ありがとうございました。

ご 氏 名 _____